

申告書の提出は今月中に



《事業用償却資産を所有している方へ》

- ・工場や商店、農業、サービス業などの事業を営んでいる会社や個人の方が、その事業のために所有している、構築物・機械・器具・備品等の事業用資産を償却資産といい、土地・家屋と同じように固定資産税が課税されます。
- ・1月1日現在で矢吹町内に該当する償却資産を所有している方は、1月31日(水)までに「償却資産申告書」及び「種類別明細書」を提出してください。
- ・事業用太陽光発電設備も償却資産になります。(下記参照)
- ・除却・売却・廃棄などですべての資産がなくなった場合でも申告が必要です。
- ・前年度に申告された方には申告書類を送付しておりますが、新規での申告で用紙をお持ちでない方はご連絡ください。

《事業用太陽光発電設備(ソーラーパネル等)を設置・運用開始された方へ》

償却資産(固定資産税)として申告が必要です。

- ・平成29年中に事業用太陽光発電設備を取得・設置し、矢吹町内において設備の運用を開始された方は、償却資産の申告が必要になります。運用状況をご確認の上、1月31日(水)までに申告書を提出してください。
- ・事業用太陽光発電設備は、売電をしている、していないに関わらず、事業のために所有した場合、償却資産として申告が必要です。
- ・申告用紙をお持ちでない方は、税務課固定資産税係までご連絡ください。

《電子申告について》

- ・地方税電子化協議会が運営する電子申告システム(eLTAX:エルタックス)での、インターネットによる固定資産税(償却資産)の電子申告を受け付けます。ご利用にあたっては、eLTAXホームページにてご確認をお願いします。【eLTAXホームページ: <http://www.eltax.jp/>】
- ・郵送、および窓口での申告書のご提出は、従来通り受け付けております。

《申告書提出時のご注意》

昨年度の償却資産申告から、申告書へのマイナンバー(個人番号・法人番号)の記載が義務付けられました。個人番号カード・通知番号をご確認の上、間違いのないように記載してください。なお、申告書提出の際には、確認のために、カードのご提示をお願いいたします。法人名で申告される方は確認不要です。

☎ 【提出先】 税務課 固定資産税係 ☎ (42) 2113

保険税(料)の納付額証明について(社会保険料控除)

～役場以外で申告される方へ～

確定申告で社会保険料控除の申告をする際、1月1日から12月31日までの1年間に納付した国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料の納付額も控除の対象となります。

領収書を紛失された等で納付額が分からない方は、役場で各保険税(料)の納付額証明書を無料で発行していますので、下記のとおり申請してください。

【申請者】 納税義務者本人または納税義務者と同一世帯の方
(上記以外の方は、委任状が必要になります。)

【申請に必要なもの】

窓口に来た方の身分証明(運転免許証等)

【申請窓口】 総合窓口課

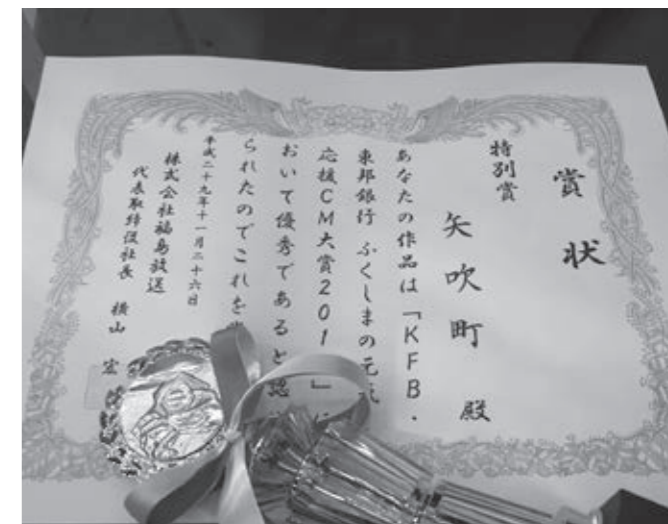
【受付時間】 平日 午前8時30分～午後5時15分

☎ 税務課 町税係 ☎ (42) 2113

以下の方は証明書が無くても確定申告ができます

- ・領収書で納付額が確認できる方
- ・通帳で口座振替額が確認できる方
- ・納付方法が特別徴収(年金天引き)のみの方
- ・役場で申告をされる方

ふくしまの元気! 応援 CM大賞2017 審査員特別賞受賞!



「ふくしまの元気! 応援 CM大賞2017」(株式会社福島放送主催)の審査会が11月26日に郡山市で行われ、矢吹町が出品したCMが見事審査員特別賞を受賞しました。町は年間30回の放送権を取得し、「開拓の町、矢吹町」をPRしていきます。

なお、CM作品は矢吹町の公式HPへ掲載予定です。

第1回矢吹講談を開催!



このたび、日本講談協会会長の神田^{かんだくれない}紅^{かんだしんく}様、神田真紅^{かんだべにか}様、神田紅佳^{かんだべにか}様の3名をお招きし、第1回矢吹講談が11月15日に矢吹町文化センター小ホールで開催されました。会場には約150名の観客が来場し、神田一門の講談を堪能されました。

神田紅^{たのはぐかい}様、並びに同後援会である楽育会会長の八重幡清忠^{や えはたきよただ}様(矢吹町出身)はじめ、関係者の皆様には、東日本大震災以降、矢吹町の復旧・復興のため、物心両面にわたり多大なご支援をいただいています。

当日は、神田紅様をはじめ楽育会の方々より、震災からの復興に役立てていただきたいと浄財50万円が寄付され、野崎町長より感謝状が贈られました。

また、矢吹講談紅の会が同日発足され、会長には矢吹町商工会の太田美男会長が就任されました。今後は矢吹講談紅の会により、継続的な矢吹講談の開催を予定しておりますのでお楽しみください。